

[2022年7月28日開催]

第1回革新的製品創出サロン（開催後記）

事務局

題記サロンを7月28日（木）に（完全）オンライン方式で開催しました。当初は広島から来られる講師を囲んだ懇親会も計画しましたが、感染者数が第7次ピークを形成しつつあることを考慮し、急遽オンラインのみに変更したものです。

★講演 「モデルベース開発 ー複雑さへの挑戦ー」

マツダ株式会社 統合制御システム開発本部首席研究員 足立 智彦氏

今年度第1回目として、自動車や航空・宇宙開発の分野を始め、ものづくり業界での重要性を増している「モデルベース開発（MBD）」の基礎から適用した成果までをマツダ株式会社の当該分野の権威である技術者に伺いました。

●同社の選定理由

ものづくり産業分野の「MBD」関連というだけでなく、以下のような

- ・マツダ 1986年 同社の山本健一社長が“感性”工学を提唱、国際学会で話題に。
- ・人馬一体、加・加速度 躍度（ジャーク）、人見常務の伝説、等の「漏れ聞こえた風評」を参考としました。懇親会が出来なかったため、この辺りまで話題を展開できなかった事が残念でした。

●ご講演を拝聴し、感動した事柄・言葉をランダムに示します。

1. 技術屋共通の悩み

- ・（提携先の）FORDの車だけを作れと言われた・・・コストカット企画屋の常套文句
→人の配置が無理なら→せめて計算機だけは投資してくれという叫び

2. サプライヤーの売込み

- ・自社保有の旧型エンジンに組み込んで実験・評価し、だめとの烙印を押された。
→OEMさんのエンジンモデルとつなげ計算し好結果で、部品モデルに昇格

3. 圧縮比15で回すぞ！

- ・ガソリンエンジンでは圧縮比を上げるとノッキング等が発生するため、圧縮比10～程度に設定されると、安易にトレードオフの関係で理解して来ましたが。間違いでした。

4. 構想段階への適用

→繋がれば後は速い、手戻りの大幅減少

5. 田口メソッドと相性良い →ドンズバ事例も自在

6. SURIAWASE 2.0 の提案

EV化は均質化したモジュールを結合するのでどこの国でも作れる？

→すり合わせが必要で、日本企業のモノづくりの道を発現！

以上

